

■トークイベント 5・12(火)夜

田舎暮らしで食えるんですか？ ～国内外に「移住」した人たち



イケダハヤトさんが高知県に移住し、被爆の不安からも話題になっている「移住」。でも、住環境や仕事、人間関係や文化など、これまでの便利な暮らしとは異なるライフスタイルやワーキングスタイル、コミュニティの作法などに不安をもつ人も…。

そこで、全国で農業に従事した女性を取材した伊藤淳子さんや、世界各国を飛び回って住んできた片岡恭子さんを迎え、田舎暮らしの暮らしぶりを存分に語りつつ、国内外への移住への不安をとりのぞいてゆく。

親元やシェアハウスでの生活から次の人生へ進みたい人、移住したい気持ちはあるのに勇気が出せない人は、ぜひご参加を！

●日時:2015年5月12日(火) 開場 19:00 開演 19:30 ~21:30

●場所:千駄ヶ谷 サンクチュアリ出版 1F イベントホール

●入場料・詳細:下記の参加予約サイトを参照(1000~1500円)

<http://goo.gl/SOKRjL>

●問い合わせ先:サンクチュアリ・パブリッシング(サンクチュアリ出版) 広報部

pr@sanctuarybooks.jp TEL03-5775-6500 担当:高山

■伊藤淳子 『農業女子』(洋泉社)の著者。農水省「農業・食料・農村政策審議会」委員ほか、経産省「農商工連携ベストプラクティス選考委員」などを歴任。6次産業化サポーター、農業女子プロジェクトサポーターなどを務めている。

■片岡恭子 同志社大学文学研究科修士課程修了。スペインのマドリッド自治州立コンプルテンセ大学留学。中南米に3年以上滞在。日本でうつ病、ひきこもり、スペインで強盗、ボリビアで暴動、アルゼンチンで遭難、ベネズエラで拘束、コロンビアで盗難と、人生経験が豊富。46カ国を歴訪。著書に『棄国子女』(春秋社)。

■今一生 ライター、編集者。1997年に Create Media 名義で編集した『日本一醜い親への手紙』はシリーズ累計 30万部を突破。最新刊は『よのなかを変える技術 14歳からのソーシャルデザイン入門』(河出書房新社)。